

2025年11月11日

会社名 住友大阪セメント株式会社
 代表者名 取締役社長 諸橋 央典
 (コード番号 5232 東証プライム市場)
 問合せ先 企画部長 戎井 昌彦
 (TEL 03-6370-2725)

2026年3月期第2四半期(中間期)業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

2025年5月13日に公表いたしました2026年3月期第2四半期(中間期)の業績予想と実績との間に差異が生じたので、お知らせいたします。

また、最近の業績の動向等を踏まえ、2026年3月期の通期業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2026年3月期第2四半期(中間期)業績予想と実績との差異(2025年4月1日～2025年9月30日)

(1)連結

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	111,400	4,800	4,000	5,000	154.00
今回実績 (B)	105,772	4,119	4,233	5,590	172.48
増減額 (B-A)	△ 5,627	△ 680	233	590	—
増減率 (%)	△ 5.1	△ 14.2	5.8	11.8	—
(ご参考)前期実績 (2025年3月期第2四半期)	108,613	2,280	2,124	943	28.06

(2)個別

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	89,400	3,000	3,600	5,200	160.16
今回実績 (B)	85,121	1,453	2,910	5,314	163.99
増減額 (B-A)	△ 4,278	△ 1,546	△ 689	114	—
増減率 (%)	△ 4.8	△ 51.6	△ 19.2	2.2	—
(ご参考)前期実績 (2025年3月期第2四半期)	88,125	△ 152	1,477	1,230	36.60

(3)差異の理由

セメント事業において、国内セメント需要の減少に伴ってセメント国内販売数量が減少したことやコストアップに対応した国内販売価格の値上げ効果の発現が当初計画よりも遅れていることなどから、従来予想に比べ売上高・営業利益が減少いたしました。

2. 2026年3月期通期業績予想の修正(2025年4月1日～2026年3月31日)

(1)連結

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	235,000	19,000	17,600	14,000	435.93
今回修正予想 (B)	225,200	14,000	13,600	10,000	311.73
増減額 (B-A)	△ 9,800	△ 5,000	△ 4,000	△ 4,000	—
増減率 (%)	△ 4.2	△ 26.3	△ 22.7	△ 28.6	—
(ご参考)前期実績 (2025年3月期通期)	222,502	7,251	8,476	15,339	447.85

(2)個別

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	188,200	14,600	14,400	12,500	389.23
今回修正予想 (B)	179,300	8,200	8,800	6,600	205.74
増減額 (B-A)	△ 8,900	△ 6,400	△ 5,600	△ 5,900	—
増減率 (%)	△ 4.7	△ 43.8	△ 38.9	△ 47.2	—
(ご参考)前期実績 (2025年3月期通期)	176,773	3,025	4,240	6,799	204.08

(3)修正の理由

第2四半期(中間期)と同様、通期においてもセメント事業におけるセメント国内販売の減少や国内販売価格の値上げ効果の発現が遅れることが見込まれることなどから、売上高・損益とも従来予想を下回る見込みとなりました。

(注) 上記業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上